

会 議 録（要 旨）

会 議 名	武蔵村山市環境審議会
開 催 日 時	平成27年9月28日（月） 午後3時 ～ 午後4時半
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：柳下佳仁会長、熊木正好副会長、吉田洋市委員、高木宏友委員、田島せつ子委員、中山忠委員、加藤大明委員、川島修委員、梅村清委員（9名出席） 欠席者：米田剛行委員（1名欠席）、 事務局：環境課長、環境課主査（環境保全グループ）、環境課主任（環境保全グループ）、委託調査会社（4名出席）
議 題	（1）武蔵村山市第二次環境基本計画策定に係る答申（案）について （2）武蔵村山市第二次環境基本計画（案）について （3）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について：指摘を受けた点を反映し、次期会長と確認して答申とする。 議題2について：指摘を受けた点を反映し、次回審議を行う。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （○＝委員、 ●＝事務局等）	配布資料：（事前配布） ・「武蔵村山市第二次環境基本計画について（答申）」（案） ・「武蔵村山市第二次環境基本計画」（案） （当日配布） ・次第 議題1 武蔵村山市第二次環境基本計画策定に係る答申（案）について 【説明要旨：武蔵村山市第二次環境基本計画の策定について（答申）（案）を参照】 【主な意見】 ○「6 審議会の中で出された個別意見」の記載の中で、「国は、「水素社会」・・・」という文章の中で、最後に「武蔵村山市の積極的に取り組んでいくことも大切だと思う」とあるが、「取り組んでいくことが大切である」とした方がよいのではないか。 ○同様に「環境の取り組みについて行政が主体的に・・・」の文章の中で、「視点を加えていただければよいと思う」とあるが、この文末を他と同様に工夫が必要ではないかと思う。 ●他の各項目と同様に文末をそろえて指摘のとおり修正したいと思う。 ○「エ 生活環境の保全」の箇所、「気候変動について市域の状況把握に努めることが重要です」とあるが、状況把握に加えて周知ということを入れていただきたい。周知を進めること、もっと言うなら「減災に努めることが重要」と記載された方がよいのではないか。 ●「市域の情報把握と周知を進めることが重要です。」と修正いたします。 ●今いただいた3箇所について、修正をさせていただき、次期会長と確認させていただき、完成とさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。 ○異議なし。 議題2 武蔵村山市第二次環境基本計画（案）について 【説明要旨：武蔵村山市第二次環境基本計画（案）を参照】

- P16(3)について、誤字があると思う。「環境な範囲で」とあるが「可能な範囲で」ということだと思う。
- P8に、(2)に、「化石燃料系資源の枯渇や市場価格の高騰」とあるが、今、石油価格は下がっていると思う。ここは削除した方がよいのではないか。
- 今はたまたま下がっているが、また上がる可能性もあるので、「変動」という言葉に修正したらよいのではないか。
- そのように修正する。
- P5について、基本計画の答申の中でも出ていたが、「環境基準の遵守と維持」に努めるということがあると思う。その視点が抜けているのではないか。それは3者それぞれに言うべきであれば、冒頭に文章として記載した方がよいと思う。重要な内容だと思う。
- 市も市民も事業者も全て対象となる内容なので、冒頭の前文に記載する。
- P12の人口・世帯別割合のグラフがあるが、平成27年度の値も入れてはどうか。また、P13に掲載されているデータは武蔵村山市のデータか。
- データ出典元は、東京都の発行データもあるが、内容は武蔵村山市のデータである。
- グラフがモノクロで凡例が分かりづらいので、工夫していただきたい。
- 正式なものはカラーで印刷できればと思う。人口についても平成27年度のデータを追加したいと思う。統計データが確定したものがあれば、そちらを掲載したいと思う。統計元によっては間に合わない可能性もあることをご承知いただき、最新のものを見直して基本計画のデータを差し替えていきたいと思う。
- P25の語尾が「実施してきました」「行いました」となっているが、「行います」の方がよいのではないか。河川の水質保全について、残堀川について清掃活動も都が主体でやっていると感じるが、現在はどのような状況か。
- 残堀川クリーンアップ作戦は、当初は、北多摩川北部建設事務所と、環境課、道路下水道課、市民が協働で実施していた。北多摩北部建設事務所が河川管理はしているが、平成24年度からクリーンアップ作戦は、環境課、道路下水道課、市民で実施している。
- 補足ですが、残堀川の両側に親水緑地広場が点在しているが、これは東京都から借りて、市が整備して公園として維持管理している。川底は都が管理しており、堤防部分は市が管理をしている。また、イオンモールから南側の日産のテスト工場の脇の部分の東側の自転車道になっているところも市で整備して管理をしている。一級河川だが、市の方で脇の堤防はお借りして整備させていただいているということもあり、市で積極的にクリーンアップ作戦をしている。
- イオンモールの南側に、大量の廃棄物があった。それは、都が残堀川を清掃した際に、都が空き地に集めた残骸を置いておいた結果、不法投棄が連続して起こって山になったということであった。すぐに市長が動いてきれいになったそうだが、そのような端境期のようなところがある。市と都が連携できるようなことを考える必要がある。
- 今、ご指摘いただいたところは、市が親水緑地広場として管理している部分があれば東京都の資材置き場兼ごみの集積場所があり、フェンスで囲まれている。その南側には、確かに不法投棄を良くされる場所がある。ごみ対策課が対応したと思う。
- せっかくよいことをやっても、よくない具体的な事例が出てしまう

と、悪い意味でアピール力がある。きめ細かくできないといけないと思う。

●不法投棄については、村山団地の建替えに伴って転居する際の不法投棄や、貯水池の周りや残堀川に不法投棄が目立つ箇所があり、ごみ対策課で巡回をしながら看板等の設置をしているが、まだまだご理解いただけない方が捨ててしまうということになっているのが現状である。

○P 3 2の歴史的文化的財について記載があるが、これまでも環境基本計画の対象だったか。

○これまでも出てきている。

○具体的には、どこがあるのか。

○三中の周りで、調査して、実際は違ったというような例もある。

●現状について 都指定文化財 2 件、市指定文化財 23 件あり、平成 26 年度に市の指定されたものが 3 件ある。以前の計画の時は、市指定文化財は 20 件と記載されていたと思う。

○P 3 6の市内公共施設の再生可能エネルギー導入状況について「平成〇年〇月現在」と記載した方がよいと思う。

●そのように修正する。

○P 4 9についても最新データを入れた方がよいのではないか。

●そのように修正する。

○P 4 9の環境指標について、「不法投棄等のごみ回収量」とあるが、全体的なことも大切だが、不法投棄されやすい場所があると思うので、そこを常時監視するというような改善案を指標の中に記載できないか。主要な箇所を押さえれば、市の大部分を把握できるのではないか。

○例えば、監視カメラを置くなどはできないのか

○一番、苦しんでいるのは、貯水池のところである。何年も前から、取り組まれていて、きれいにして柵で囲っても隣に捨てられてしまう。監視カメラなどの対応も一つであり、単年度では難しいかもしれないが何年かかけて改善することはできないか。市として、重要な検討課題であり、項目として入れるのは重要なことだと思う。

●現在の市の取組をまずご紹介したい。貯水池の外周道路は東大和市、武蔵村山市、所沢市の行政界が入り組んでいる。特に、ご指摘いただいた箇所は、道路は東京都が整備しているが、管理区分は東大和市と武蔵村山市が管理している。当該箇所は、電気の供給が困難であり、街灯の設置がまばらである。そのため、夜間、不法投棄があるので街灯を設置したいという要望もしているがなかなか進まない状況である。要所要所で不法投棄の連絡があったところについては、LEDの街灯を設置している状況である。現在は、ごみ対策課、道路下水道課、環境課で連携し、巡回している。不法投棄された廃棄物については、ごみ対策課で回収処分を行うことになっている。また、新入職員の研修名目で、年1回ごみ拾いを行っている。今年度は2回に分けて、6月と10月か11月に実施する予定で、コンテナ車で3台程度集まった。捨てられたごみをそのままにすると、どんどん捨てられるという状況があるので、すみやかに撤去し、きれいな環境をつくらう、という方針である。これを続けていきたいと思っている。

●また、木が道路の両側に生い茂り、光が入ってこないという状況があるため、強剪定を行うことによりごみが捨てやすい環境の改善を東京都に要請している。監視カメラについては、現在のところ、不法投棄を監視するためのものは市で設置していない。警察が試験的に緑が丘地区において、防犯ブザー、防犯の赤色灯、監視カメラが一体となったスーパー防犯灯を設置している。

- 私も、今年の6月の職員研修に同行したが、水道局用地である南側について、東京都で公園整備計画があるが、買収されているところはフェンスがあるが、私有地はフェンスがなく、不法投棄がされやすい場所となっている。本来、土地の適正管理は所有者に管理いただきたいという考え方だが、東京都で買収を進めていくことになっているので、ゆくゆくはフェンスが設置されると、数年後にはごみが捨てられなくなるのではと思っている。それまでは、市は研修の機会や職員の監視により、ごみの捨てられない対応をしていきたいと思っている。
- よく分かるが、クリーン作戦で地道なことをやっているわりには、不法投棄は目立ってしまう。私有地はともかく、市に関わる場所について、非常に目立つことがコントロールされていないと何をやっているのかということになる。特に目立つ不法投棄の場所について、何か対策を検討されてはどうか。地道にやっていくことと重点的な手立てを示した方がよい。
- ご意見については、検討する。不法投棄がなくなれば、市職員がごみの回収を行う必要がなくなるので、まずは、捨てられないようにする、ということも重要だと思う。
- 全体を通じて、P 2 3から「取組内容」とあるが、はじめて「行政」という欄がある。この言葉は、これまでの審議会での意見を受けて、コンセンサスを取られて、担当課を表記されるということか。大変、進歩したと思う。
- お見込みのとおりである。
- P 2 1の10年後の武蔵村山市のイメージについて、この通りだと思うが、住環境がどうなるかという視点が抜けている気がする。どういう住宅事情になっていくのかというのが入っているとよいのではないか。
- 生活環境で記載しているつもりだが、もう少し具体的にご意見をお聞かせいただきたい。
- そういうことではなく、このまま過密な住宅事情になるのか、過疎の状況が維持されるのか、工業団地が増えるのかで全く違い、基本的なまちの構成が変わってくるので述べる必要があるのではないか。
- ハードやインフラのようなものか。
- そうである。また、無理であれば、ソフトのみを記載していると思いきってもよいと思う。
- 検討したいと思う。
- P 5 2に「市民、事業者の環境活動の把握」と記載されているが、市が、市民、事業者へ発信していくことを記載できないのか。中小事業者が多いので、そこに対して、市側から発信していく仕組みを考えてはどうかと思う。事業者と協働でやっていくということを考えられたらどうかと思う。
- 項目としては記載しているが、具体的な内容が記載されていないので、修正したいと思う。
- 最後の頁に用語集とあるが、どの様な項目を記載予定か。「4 R」という言葉についても市民からは分からない、分からないと拒否反応が出るだろう。そのような項目は検討されているだろうか。4 Rという言葉は、同じような言葉が続く中で、ひとつずつ意味がある。一般市民が見る計画なので独特な単位などもあれば考慮していただきたい。
- 前回の会議後、私も勉強したところ、4 Rの考え方は大切で、推奨している他市町村では、4 Rの一番目は断ること、例えばレジ袋はもらわない等、次に減らすこと、例えばごはんを食べ残さない、再利用する、再資源化など、丁寧に発信しているところもあった。家庭と学校で推進し

ていくことをしないと根付かない。啓蒙のパンフレットなども必要だと思う。用語の説明だけでは難しい。小学生に再生紙のノートの利用はどれかなど、身近なものを題材として、市民レベルで問いかけている。本当に浸透していけるようなことを考えて、行動につながることを、取組としていただく必要があると思う。そこまでやった方がよいと思う。取組みの中で、普及啓発・支援だけではなく、もう一步踏み込んでほしい。

○4 Rはこれまで記載されていなかった目玉だと思う。そのため市民に伝わるように内容も含めて、検討してほしい。

○P 2 4、3 8、4 1、4 4に具体的な目標の数字が書かれている。ここに注釈でもよいので、現状を記載した方が見る人へインパクトを与えると思うので、追加していただければと思う。

○P 4 7に、環境基準について%提示で示されているが、これはどういう意味か。

●ひとつの環境基準、水質のPHの基準は基準を超過したかどうかで出せるが、達成状況ということしていくつもの調査項目がある中で、守られた項目が何%かということを見ていくということである。道路騒音、新青梅街道は基準を超過している状況がある。改善をしようと思っても、道路管理者に要請はするが、いくつもの項目がある中で、全部が達成できていれば100%、そうでないならば90%としてはと思って記載した。

○そうであるならば、注釈を入れた方がよいのではないか。

●ご指摘のとおり、どのような値なのか説明を記載する。

○ぜひ、これまでの個別項目の一覧表を出してもらった上で、何%という指標をだしていただきたい。

●その予定である。

○P 3の位置づけであるが、都の条例もあるので、条例を記載してほしい。また、P 2 0の望ましい環境像について、「むさしむらやま」はひらがなになっているが、市として、そのような方針をとっているのか。

●武蔵村山市の計画について、「・・・のむさしむらやま」とひらがなで表記しているので、こちらもそのようにさせていただいた。

○リーディングプランについて、どういう位置づけなのか確認したい。重点項目ということなのか。他の市町の事例を記載しており、5番目にエコランプリの実施とあるが、それぞれの項目についてどんな成果をあげたのかということが分かれば非常によいと思うが、具体的なイメージを持っているのか。

●リーディングについてまだ具体的には何も持っていないというのが現状である。これができるか、取り組めるかは不安なところである。現状案で今後、掲載の仕方も含めて精査していきたい。

○特に旗を上げたいという意図があるということか。

●そうである。しかし、計画でここまで示すと厳しいかなと思っているところがある。例えば、現段階で掲げて、実現できるかという懸念もあるため案の段階で、自信をもって言えないところである。

○優先順位をつけてできることからスタートすることもできるのではないか。

○リーディングプランのうち、堆肥化モデル事業で平成26年度から始めている事業で、まだ1年目なので取組を進めていくと記載してもよいかな心配なところがある。

●生ごみの堆肥化について、市内2地域で100世帯にご理解いただき、モデル事業を始めたところである。第3章の環境像の取組の①～⑤を進め

	<p>ていきたいということでリーディングをお示ししたが、実際に進めるかどうか不確定なところもある。モデル事業をやっていることや10年、何かしらやっていかないといけないという点があるので、事務局としては、所管の部署と確認をし、実際にどこまでできるかどこまでやってほしいかを議論して、計画へどこまで掲載するか検討していきたい。不安なところもありつつ、やっていかないと環境も良くなならないということもあり、悩ましいところである。</p> <p>○希望としては、重点的なものを挙げ、時系列で考えるという枠組みにしてはどうか。</p> <p>○委員の皆様から様々な意見をいただいたので、検討していただき、良い計画にしていきたい。</p> <p>議題3 その他 特になし</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 </p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0 人</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 10px;"></div>
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____） </p>
--------------	--

庶務担当課	協働推進部環境課（内線：295・296）
-------	----------------------

（日本工業規格A列4番）